

プロロジス、ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社と、
「物流の2024年問題」対応のためのパートナー契約を締結
～車番認識および積載率把握ソリューションによる物流DXを推進～

物流不動産の所有・運営・開発のリーディング・グローバル企業であるプロロジス(日本本社:東京都千代田区丸の内、代表取締役会長 兼 CEO: 山田 御酒)は、ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社(本社:神奈川県厚木市、代表取締役社長 兼 CEO: 清水 照士、以下、SSS)と、「2024年物流問題への取り組み協力のためのパートナー契約」を締結したことを発表しました。

今後、SSSが提供するエッジ AI センシングプラットフォーム「AITRIOS™」を活用し、物流 DX ソリューション提案を推進します。具体的には、以下の取り組みを進めていきます。

- トラックバースにおける待機時間や荷役時間の把握に向けた、ゲート車番/バース車番認識ソリューションの導入
- 配車計画の最適化やトラック輸送不足の改善に向けた、トラック積載率把握ソリューションの導入 等

■ パートナー契約締結の背景

物流業界では、トラックドライバーの残業制限により輸送力低下が危ぶまれる「2024年問題」の解決が課題となっています。また、2023年6月には物流適正化・生産性向上に向けたガイドラインが策定され、物流事業者や荷主事業者は、荷待ちや荷役作業にかかる時間を把握し、短縮に努めることが定められた。早急な対応が求められるものの、現状のバース管理は目視・人手による記録が主流であり、効率化が課題となっています。

プロロジスは、「AITRIOS」を活用した物流 DX ソリューションをご提案することで、物流施設の入居カスタマーや荷主企業様のバース管理効率化、輸送力強化を支援します。

■ 各社の役割

ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社

エッジ AI センシングプラットフォーム「[AITRIOS](#)」により、可視化が難しい物流施設などの現場状況を、センシングテクノロジーの活用を通じてデータ化し、可視化。

プロロジス

物流施設の入居カスタマー等が抱える物流業界の課題解決において、「AITRIOS」を活用した物流 DX ソリューションを提案。SSSと連携した展示会・内覧会などのマーケティング活動の推進。

※ AITRIOS は、ソニーグループ(株)またはその関連会社の登録商標または商標です。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
プロロジス 広報室

報道関係者お問い合わせフォーム

<https://prologis.form.kintoneapp.com/public/inquiry-media>